

乗台寺八十八ヶ所完成碑（旧佐川町）

佐川地区

五 その他の部

佐川八十八ヶ所霊場 旧佐川町内

佐川八十八ヶ所霊場が完成したのは、明治十八年（一八八五）七月で、これにより四国八十八ヶ所巡拝の年齢的、時間的、経済的困難をかこっていた多くの信者たちに新しい光明が与えられた。全行程十四軒、老人でもユックリ一日中に巡回できる距離と範囲である。

こうした企画がこの時代に生れた背景には当時の維新政府の行過ぎた廃仏棄釈がある。

乗台寺もこの嵐の前に末寺の悉くを喪い、本寺のみが辛じて復活していた。

そしてこの虚脱状態を打破し、仏道の恢宏をはかり弘法大師の教宣を拡めるべく、檀家信者一体となって、この八十八ヶ所が生れたのである。

その後、世の変遷はこの霊場参拝を忘れさせ戦後は全く無縁仏同様にになっていた。

今日、この佐川八十八ヶ所霊場が復活し、大師講を中心とした巡拝が日々行われるようになったのには、この御本尊石仏の発見に二ヶ年の歳月を費して精進した岡村嘉太郎氏の努力が大きな力になっている。

巡路は絶好のハイキングコースであり、オリエンテーリングの場所としても申し分ない。
移り変わる山野の風色を賞でながらの六根清浄を期待したい。

一番 霊山寺 本尊 釈迦如来 八 熊谷寺 千手観世音菩薩

場所 乗台寺境内(観音堂前) (七番と同地)

(以下、番、本尊、場所、の字及施主名、略) 九 法輪寺 釈迦如来 涅槃像

二 極楽寺 阿弥陀如来 乗台寺境内(観音堂の裏、弁天池の横)

乗台寺境内(観音堂前) 十 切幡寺 南面 千手観音菩薩

三 金泉寺 釈迦如来 乗台寺境内(観音堂の裏東隣り) 地面 女人即成仏の観世音菩薩

乗台寺境内(右同) 十一 藤井寺 葉師如来

四 大日寺 大日如来 乗台寺境内(大師堂裏庭園入口左側) 観音堂の裏、風呂ヶ谷へ行く右側

地蔵寺 勝軍地蔵菩薩 十二 焼山寺 虚空蔵菩薩

五 松崎氏神、天満宮の裏、岩ノ上 十一番より風呂ヶ谷へ行く途中の三岐点の左側

安楽寺 葉師如来 十三 大日寺 十一面観世音菩薩

六 五番と同地 風呂ヶ谷、登り口右側

七 十楽寺 阿弥陀如来 十四 常楽寺 弥勒菩薩

乗台寺境内(大師堂南側)

その他の部

風呂ヶ谷

十五 国分寺 薬師如来

(十四番と並ぶ)

十六 観音寺 千手観世音菩薩

風呂ヶ谷

十七 井戸寺 七仏薬師如来

(十六番と並ぶ)

十八 思山寺 薬師如来

久万田(町役場横、鉄道を越した道路のカーブ点

山側)

十九 立江寺 地藏菩薩

乗台寺境内 文珠堂内

(註) 元文珠堂ハ裏町郵便局西側道下ル登記所附近

ニアッタモノ、移転ニ伴イ移ル。

廿 鶴林寺 地藏菩薩

光明寺山、光明寺跡の東上

廿一 大竜寺 虚空蔵菩薩

光明寺山、廿番より二〜三米上方

廿二 平等寺 薬師如来

春日、北側を山に登り上の端の人家の上

廿三 薬王寺 薬師如来

春日廿二番の上方

廿四 東寺 虚空蔵菩薩(最御崎寺)

春日廿二番の東の畑を通り山際

廿五 津照寺 地藏菩薩

国道上郷側

廿六 金剛頂寺 薬師如来

上郷、八幡神社裏

廿七 神峰寺 十一面観世音菩薩

和楽園下三叉路、右上へ登る。

廿八 大日寺 大日如来

和楽園、東の天理教会の上方

廿九 国分寺 千手観世音菩薩

永野の鉄道踏切の右側を山へ登る岩の下

卅 安楽寺 阿弥陀如来

佐川中学校体育館の裏側

卅一 竹林寺 文珠菩薩

唐岩谷、猿丸峠に向って旧道の家の裏

- 卅二 禪師峰寺 十一面觀世音菩薩
(卅一番と同じ) 粕谷峠より中山に下る途中(中程)
- 卅三 雪蹊寺 薬師如来 四一 竜光寺 十一面觀世音菩薩
岩井口
- 猿丸峠より右へ下る(鷺ノ巢)旧道の途中右側 四二 仏木寺 大日如来
岩井口
- 卅四 種間寺 薬師如来 四三 明石寺 千手觀世音菩薩
鷺ノ巢の詰、大きなクロガネモチの木の下
- 卅五 清滝寺 厄除薬師如来 四四 大宝寺 十一面觀世音菩薩
室原鷺ノ巢(影地)和鯨神社床跡岩の上
- 卅六 青竜寺 波切不動明王 四五 岩屋寺 不動明王
室原、鷺ノ巢より粕谷道の切水
- 卅七 岩本寺 阿弥陀如来、薬師如来、觀世音 四六 浄瑠璃寺 薬師如来
菩薩、地藏菩薩、不動明王
- 室原、中山より岩井口へ渡る角の元橋突当り 四七 室原、法恩寺跡
を左へ約二十米行った植林中 四八 八坂寺 阿弥陀如来
(室原、四六番に同じ)
- 卅八 金剛福寺 千手觀世音菩薩 四九 西林寺 十一面觀世音菩薩
粕谷峠
- 卅九 延光寺 薬師如来 五〇 浄土寺 釈迦如来
岩井口 (室原、右同)
- 四十 觀自在寺 薬師如来 (室原、右同)

その他の部

- 五十 繁多寺 薬師如来
（室原、右同）
- 五一 石手寺 薬師如来
室原氏神、横倉神社の下
- 五二 太山寺 十一面観世音菩薩
室原、日ノ地
- 五三 円明寺 阿弥陀如来
室原日ノ地、由留岐橋中間古川尻の上の谷の
上方
- 五四 延命寺 不動明王
室原日ノ地、由留岐橋の中間、淵の上
- 五五 南光坊 大通智勝菩薩
柏原部落入口
- 五六 泰山寺 地藏大菩薩
岡崎、由留岐橋の中間
- 五七 栄福寺 海中出現阿弥陀如来
岡崎、由留岐橋の中間、五六番と並ぶ
- 五八 仙遊寺 千手観世音菩薩
岡崎、由留岐橋の中間
- 五九 国分寺 薬師瑠璃光如来
岡崎、由留岐に向う大カーブの突端の上
- 六十 横崎寺 大日如来
岡崎
- 六一 香園寺 大日如来
岡崎聖神社石段右側、大岩の下
- 六二 宝寿寺 十一面観世音菩薩
（六十一番と同じ）
- 六三 吉祥寺 四国唯一体、毘沙門天
岡崎聖神社、鳥居下の左
- 六四 前神寺 阿弥陀如来
三白山（タチキリ水の上）
- 六五 三角寺 十一面観世音菩薩
三白山（右と同じ）
- 六六 雲辺寺 千手観音菩薩
島ノ土居（三白）戸田屋敷の上
- 六七 大興寺 薬師如来
虎杖野 堤防の上
- 六八 神恵院 阿弥陀如来

(右に同じ、並ぶ)

の茶畑

六九 観音寺 聖観世音菩薩

七七 道隆寺 薬師如来

虎杖野から桂へ行く旧道(堤防上)

天理教会の上方

七十 本山寺 馬頭観世音

七八 郷照寺 阿弥陀如来

島の土居

中本町天理教会の上方(旧水源貯蔵槽跡の横)

七一 弥谷寺 千手観世音菩薩

七九 高照院 十一面観世音菩薩

虎杖野、桂橋の西詰

神明山、五所神社裏、上段畑の東端

七二 曼茶羅寺 大日如来

八十 国分寺 十一面千手観世音菩薩

桂橋西詰

忠霊塔の裏

七三 出釈迦寺 釈迦如来

八一 白峰寺 千手観世音菩薩

中組より谷田山谷間を越え中本町に通ずる旧

忠霊塔の裏

道の頂上

八二 根香寺 千手観世音菩薩

七四 甲山寺 薬師如来

忠霊塔登り段左旧道添い

右七三番の道を下る旧火薬庫の上方

八三 一宮寺 聖観世音

七五 善通寺 薬師如来

忠霊塔登り段、左旧道添、八二番と並ぶ。

中本町(肥代之坂)公民館の上方茶畑の上の道

八四 屋島寺 十一面千手観世音菩薩

端

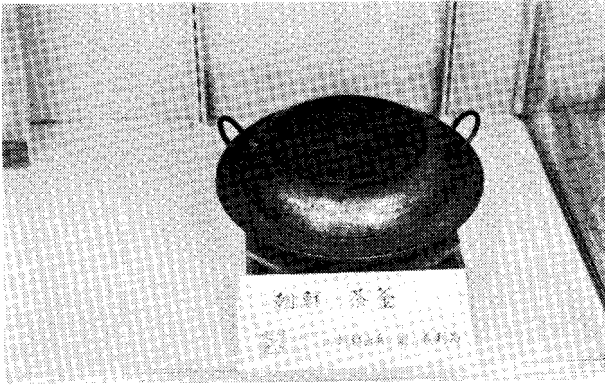
本三野(沖ノ古城)、灯明台下

七六 金倉寺 薬師如来

八五 八栗寺 聖観世音

中本町公民館の上方茶畑の隅、七七番の上段

(八四番に並ぶ)



一文字茶釜

八六 志渡寺

十一面観世音菩薩

中本町(旧肥代之坂)公民館裏、地藏堂内

八七 長尾寺

聖観世音菩薩

乗台寺境内(観音堂前)

八八 大窪寺

薬師如来

(上に同じ)

(完成記念碑) 乗台寺境内

遍照金剛(明治十八年七月完成)

'23. 8. -2

オーテピア高知図書館 印字

2023/08/02 16:20

資料詳細

タイトル： わが町の文化財と旧跡

副書名：

巻次：

巻の書名：

：

著者： 佐川町文化財と旧跡編さん委員会/編

出版者： 佐川町

出版年： 1981.9

大きさ： 22cm ページ:341p

資料区分： 高知関係<一般>

所蔵館： オーテピア高知図書館

所蔵場所： 3F高知資料、M4F書庫

※所蔵場所が「書庫」となっている本は手続きが必要です。オーテピア高知図書館2F・3Fの各窓口（2F案内カウンター、3F視聴覚カウンターを除く）でおたすねください。

請求記号： K/709/㊦/

状態： 利用可

他の所蔵館：

資料コード： 1102110812

